









劇団ドラゴン・ファミリーによる「赤とんぼ」斉唱

ジェクトの一環ですぼの生態調査は、 の一環です。 このプロ

前園泰徳さんによる赤とんぼ調査の内容説明と成果報告が行われました。 上田哲行教授の講演と、市内4小学校の児童による赤とんぼ調査の成果報告、

勝山市が進めている同プロジェクトに関する環境保全研究会が開催され

日本の原風景を守る

「赤とんぼと共に生きるプロジェクト」

赤とんぼの舞う風景を未来へ

全国で激減して

いる赤とん

いました。 小学校ごとに

かりで驚いたことや、 他の 告をしました。

## 残したい自然

何をすべきか、何ができるの広がっていく。そのためには

な生物が生息できる可能性が 残していくことで、他の多様

が一緒に考えていく

「赤とん

かを子どもたちと、

地域の人

ぼと共に生きるプロジェク

が始まりました。

小学校による赤とん

発表を行 調査を通して初めて知ること 児童たちは、 赤とんぼの生態について、

を担当した児童たちが成果報れた環境保全研究会で、調査日に教育会館大ホールで行わ

して残る勝山市。この環境をぼが、まだ当たり前の風景と

んぽの住みやすい環境に自然を残していきたい」ことなどが発表され、「 全意識の高まり

昆虫にも関心が高まってきた て調べたい」といった環境保 が感じられま い環境につい この

適度なったまりが大好き ~赤とんぼの生態にあわせた優しい田んぼつくりを~

アキアカネは稲刈り後の水田にできる水 月に適度な水たまりができるよう水田に水を入 れ、産卵しやすい環境を作りましょう。

アキアカネは

水はたくさんでなく、水たまりができる程度で 十分です。

アキアカネの卵は春、水田に水が入る 水入れが遅いと6月の水切り時期に飛び立てな いアキアカネが増えてしまいます。

春は、できる限り早めに水入れを行いましょう。



# と子どもたち

# ・調査を通して変わる意識~

にかけて、

小学校付近の水田

人全員が6月末から7月中旬鹿谷小学校では、5年生16

といば8000

キング

後の抜け殻数調査と、羽化し3枚で赤とんぼ類の羽化した

マーキングをする作業を行 たばかりの翅に追跡調査用の

羽化殻は287個見つけ、

キングは208個体に施

学校でお話を伺いました。 査を通していろいろな変化がみられたようです。 キングには市内の4小学校(三室・野向・荒土・鹿谷) の児童たちが参加しました。参加した児童たちには、調 赤とんぼの羽化数調査と、 移動経路確認のためのマ 鹿谷小

鹿谷小学校5年生による調査の様子

鹿谷小学校 平 林

楽しく、より知的に身近な なったと感じます。 環境に興味を持つように など、子どもたちは、 私自身

## 身近な環境に興味

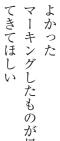
子も興味を持つようになる調べるようになりました。 の名前は、ちゃんと図鑑でうになり、分からない昆虫 どと種名でしっかり呼ぶよ アキアカネやナツアカネな に「赤とんぼ」と呼ばずに なと感じることは、 赤とんぼ類の調査を通じ 子どもたちが変わ つ

> がたくさんあり んなこと 緒に感動す

# 子どもたちの気づき

たちは、 て、さらに関心が高まって るということに気づ であるということ、そして、 含め、それらが人間だけの きているように感じて 人間も自然と共に生きてい ものではなく、自然のも この体験を通じて子ども 山や川や田んぼも いてき 0)

### 子どもたちの感想 ・赤とんぼが大好きになった 田んぼによって羽化数が違 いっぱいマーキングできて したものが帰っ 自然を見



てきてほしい -キング

調査したい!という声もあり ていると感じました。 つめる目がしっかりと養われ 子どもたちには、 うのが不思議 来年も

すことができました。



## 子どもたちと 緒に感動

茂将 教諭

### を子どもたちと発 カネの羽化や ること

鹿谷小学校5年生の皆さん